




# 内視鏡的胃粘膜下層剥離術を受けられる方へ

ID

患者氏名

受け持ち医師:

項目	月日		手術後1日目		手術後2～6日目		手術後7日～退院日	
	入院当日	術当日(術前)	術当日(術後)	手術後1日目	手術後2～6日目	手術後7日～退院日	手術後7日～退院日	手術後7日～退院日
目標	治療の準備ができるよう援助します。	発熱など体調不良がなく、治療が受けられるよう援助します。	不安なく治療が受けられ、出血・穿孔などの合併症なく経過できるよう援助します。					退院後の生活が理解できる
治療・薬剤(点滴・内服)・処置・リハビリ	現在、飲んでいる薬があればお知らせください。必要に応じて、リハビリテーションを行います。 	7時まで内服薬を少量の水で内服して下さい。午前中より、点滴を行います。  	飲水が可能になったら中止薬以外の内服を服用します。  	治療日から継続して点滴を行います。レントゲン・胃カメラ検査後から必要時、粘膜保護の薬の内服が開始になります。 	中止薬がある場合は再開の時期を説明します。術後2日目から点滴が1日1本となります。術後4日目、点滴を抜きます。			
検査			内視鏡室で治療を行います。	早朝に血液検査があります。午前中にレントゲン検査を行い、その後胃カメラ検査を行います。  				
活動・安静度	特に制限はありません。	点滴に注意してお過ごしください。	治療後、2時間ベッドで安静にして下さい。治療後は麻酔の影響でふらつくことがありますので、トイレ歩行以外は安静にお過ごしください。	検査には車椅子で行きます。その後は病棟内を自由に動いていただけます。 	術後2日目から院内自由になります。 			
食事	21時以降は飲んだり、食べたりできません。	何も、飲んだり食べたりすることができません。	治療後2時間経過し、腹痛・吐き気など症状がなければ水・お茶を飲めます。翌日に胃カメラ検査がありますので21時以降は飲んだり、食べたりできません。  	検査終了し、許可があれば水・お茶が飲めます。	術後2日目から流動食が始まります。3分粥、5分粥、7分粥、全粥と毎日変わっていきます。病院食以外は食べないで下さい。 	次回外来に来られるまでは、消化の良いもの、柔らかい物を食べるようにして下さい。禁酒、禁煙して下さい。   		
清潔		清拭を行います。 		術後翌日からシャワー浴ができます。 	術後4日目から入浴ができます。 			
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	入院オリエンテーションをします。同意書の確認を行います。入院診療計画書に沿って、治療の説明をします。分からないことがあれば遠慮せずにお尋ねください。  	治療中、ご家族は連絡がつく状態にして下さい。必要時は来院をお願いすることがございます。ご家族の方が来られる場合は、ラウンジで待機して頂きます。治療終了し患者様を迎えに行くときに一緒に内視鏡室までご案内致します。 	治療後、最初の歩行はふらつきますので、看護師を呼んで下さい。術後に黒い便が出る場合があります。普通と違う便の色が出た場合は看護師にすぐお知らせ下さい。嘔気、嘔吐、腹痛などがありましたら、すぐに看護師にお知らせください。 	術後に黒い便が出る場合があります。普通と違う便の色が出た場合は看護師にすぐお知らせ下さい。嘔気、嘔吐、腹痛などがありましたら、すぐに看護師にお知らせください。	胃が痛い、ムカムカするなどの症状がありましたら、お知らせください。 	術後6日以降に栄養士から栄養指導があります。会計用紙をお渡しします。退院療養計画書をお渡しします。お薬をお渡しします。次回受診の説明をします。術中の組織検査の結果は、外来でお伝えしますので必ずご家族と一緒に来て下さい。  		

担当看護師:

本人・家族サイン:

竹田総合病院 消化器科 令和4年3月 改訂